

質疑に対する回答

令和 4 年 9 月 20 日

件 名 病理検査システム 一式

仕様 項目番号	質疑内容	回答
【別紙 1】 1-4-6	「17 インチモニタを付属のこと。」について、17 インチモニタは一般的にスクエアタイプが多く、解像度が 1920×1080 の場合ワイドモニタになりますので、「13.3 インチ以上のモニタを付属のこと。」に変更をお願いできますでしょうか。	設置スペース等を考慮し、サイズ変更が必要な場合は差し支えありません。仕様書を「13.3 インチ以上のモニタを付属のこと。」へ変更いたします。
【別紙 3】 2-11	複数端末で同一標本を表示した場合、排他機能がかかること。とありますが、同一標本を表示した場合にメッセージを表示しますが運用上の利点からあえて排他処理は起こないません。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	同時に処理を行った際に生じうる事象に対し対策が講じられている場合は、差し支えありません。
【別紙 3】 2-22	外注結果をスキャナにて取り込めること。PDF 形式のファイルをそのままデータで取り込みできること。とありますが、データ取り込みは jpeg 形式となります。運用上必須でないようなら PDF の文言は削除をお願い申し上げます。	PDF 形式のファイルをそのままデータで取り込みできることは、必須といたします。
【別紙 3】 2-23	欠番が生じる場合はそれが欠番と分かるような表示を設けること。とありますが、欠番を表示する機能はございません。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	欠番は、検査中止やキャンセルを意味し、検査一覧等で検査中止やキャンセルが確認できる仕組みがあれば問題ございません。

【別紙 3】 3-1	HIS 発行の依頼書のバーコードから依頼データの展開ができること。とありますが、HIS 発行の依頼書のバーコードでは到着確認のみになり、病理発番のバーコードラベルを貼る運用となります。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	HIS 発行の依頼書のバーコードを用いて、受付処理・到着確認ができれば問題ございません。
【別紙 3】 3-13	任意で検査オプションが設定できること。また、検査オプションはマスタ設定にて任意に追加／変更が可能なこと。とありますが予め決める必要があります。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	柔軟に追加・変更できることが望ましいですが、確認のため設定可能な検査オプション機能概要を提示してください。 【提出期限】 令和 4 年 9 月 27 日（木）17:00 まで 【提出先】 質疑書提出先と同じ
【別紙 3】 4-18	画像編集で、画像の中に基準となるスケールがある場合、長さ・面積が測定できること。とありますが、画像編集でのスケール及び計測機能はございません。顕微鏡画像の場合は顕微鏡アプリ側の機能を利用します。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	臓器のマクロ写真において、病変の長さや面積等が測定する機能を有することが望ましいですが、必須ではございません。
【別紙 3】 4-27	追加切出しの場合も、追加切出し日が自動入力できること。とありますが、追加切出しの場合は、追加切出し日が自動入力される機能はございません。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	作業記録のため追加切出し日を入力できることが望ましいです。手動でも追加切出し日が入力できれば可いたします。仕様書を「追加切出し日が入力できること。」へ変更いたします。
【別紙 3】 6-8	ブラインド機能により報告タブ毎に報告内容をマスキングができること。とありますが、マスキング機能はございません。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	機能を有することが望ましいですが、必須ではございません。

【別紙 3】 6-12	任意の名称で診断の登録が可能であること。とありますが、診断の名称は仮診断、本報告、追加報告になりますがレポート表記の変更は可能です。任意の名称が運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	提示された機能で差し支えありません。
【別紙 3】 6-25 6-34 10-24 15-21	添付画像にファイル名などを登録でき、報告書からも確認できること。とありますが、添付画像に任意にコメントを入力できますが特にファイル名を自動登録するような機能はございません。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	添付画像をアップロードする際、ファイル名を自動登録できない場合はコメントの入力でも可といたします。ただし、添付画像をダウンロードする際には、画像が識別できるよう入力したコメントを画像のファイル名として表示してください。
【別紙 3】 8-1	HIS 発行の依頼書のバーコードから依頼データの展開ができること。とありますが、HIS 発行の依頼書のバーコードでは到着確認のみになります。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	HIS 発行の依頼書のバーコードを用いて、受付処理・到着確認ができれば問題ございません。
【別紙 3】 10-9	材料につき最大 2 つの判定を入力できること。とありますが、1 材料につき 1 つの判定を入力します。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	例えば子宮頸部細胞診で LSIL、AGC など判定が 2 つある場合を想定します。機能がない場合は、稼働までに代替案を提示してください。
【別紙 3】 12-1	HIS 発行の依頼書のバーコードから依頼データの展開ができること。とありますが、HIS 発行の依頼書のバーコードでは到着確認のみになります。運用上必須でないようなら削除をお願い申し上げます。	HIS 発行の依頼書のバーコードを用いて、受付処理・到着確認ができれば問題ございません。
【別紙 3】 17-4	検索結果の一覧の表示項目及び表示順を画面上で変更することができ、ユーザ毎に保存できること。とありますが、検索	提示された機能で差し支えありません。

	結果は Excel 出力し表示項目及び表示順の変更が可能で検索条件をユーザ毎に登録する機能はございません。ユーザ毎に診断結果をカテゴライズしラベリングが可能です。	
【別紙 3】 18-4 18-5 18-6	検索のテンプレートを作成できること。 また、カテゴリ別に保存できること。と ありますが、検索のテンプレートを作成 する機能はございません。運用上必須で ないようなら削除をお願い申し上げます。	テンプレートを作成する機能を有する ことが望ましいですが、必須ではござ いせん。 ただし、18 詳細検索の 18-1 ～18-3 、 18-7 ～ 18-10 の項目は必須といたし ます。

※この質疑書は、仕様書等に対して質問がある場合（入札に必要な事項に限る）にのみ提出すること。

※受付期限を過ぎた場合は受理しません。